患者向医薬品ガイド

2023年6月更新

エレトリプタンOD錠20mg「アメル」

【この薬は？】

販売名	エレトリプタンOD錠20mg「アメル」 eletriptan OD Tablets 20mg「AMEL」
一般名	エレトリプタン臭化水素酸塩 eletriptan hydrobromide
含有量 (1錠中)	エレトリプタン臭化水素酸塩24.242 mg (エレトリプタンとして20 mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、５－ＨＴ$_{1B/1D}$受容体作動型片頭痛治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。

・この薬は、セロトニン（５－ＨＴ）と呼ばれる物質のうちの５－ＨＴ$_{1B}$と５－ＨＴ$_{1D}$受容体に選択的に作用し、頭部の血管を収縮させること、および頭部の血管透過性の亢進を抑えることにより、片頭痛を改善します。

・次の病気の人に処方されます。

片頭痛

・この薬は、量を加減せず、医師の指示に従って飲んでください。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

・過去にエレトリプタンOD錠「アメル」に含まれる成分で過敏症のあった人
・過去に心筋梗塞になったことがある人、虚血性心疾患またはその症状・兆候のある人、異型狭心症（冠動脈攣縮）のある人
・脳血管障害や一過性脳虚血発作になったことがある人
・末梢血管障害のある人
・血圧管理が不十分な高血圧の人
・肝臓に重度の障害がある人
・エルゴタミン、エルゴタミン誘導体含有製剤、他の５－ＨＴ$_{1B/1D}$受容体作動薬（エレトリプタンと同じ作用の他の片頭痛治療薬）、あるいはＨＩＶプロテアーゼ阻害薬（リトナビル）、あるいはニルマトレルビル・リトナビルを使っている人
・家族性片麻痺性片頭痛、孤発性片麻痺性片頭痛、脳底型片頭痛あるいは眼筋麻痺性片頭痛の人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・虚血性心疾患の可能性がある人（例えば、虚血性心疾患を疑わせる重篤な不整脈のある人、閉経後の女性、４０歳以上の男性、冠動脈疾患になりやすい人）
・ウォルフ・パーキンソン・ホワイト症候群（ＷＰＷ症候群）または他の心臓副伝導路と関連した不整脈のある人
・高齢の人
・脳血管障害の可能性がある人
・てんかんあるいは痙攣を起こしやすい器質的脳疾患のある人
・肝臓に障害がある人
・血圧管理が十分行われている高血圧の人

○この薬には併用してはいけない薬[エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン（クリアミン）、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩（ジヒデルゴット）、エルゴメトリンマレイン酸塩（エルゴメトリンF）、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（メテルギン）、スマトリプタンコハク酸塩（イミグラン）、ゾルミトリプタン（ゾーミッグ）、リザトリプタン安息香酸塩（マクサルト）、ナラトリプタン塩酸塩（アマージ）、リトナビル（ノービア）、ニルマトレルビル・リトナビル（パキロビッド）]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

一回量	１～２錠
飲む回数	片頭痛の頭痛発現時に１錠を服用します。１錠で効果が不十分な場合には、１錠を追加で服用することができますが、前回の服用から２時間以上あけてください。

	前回の片頭痛発現時に１錠で効果が不十分だった場合には、次回から２錠を服用することができます。 ただし、１日最大２錠までしか服用できません。

・この薬は頭痛発作発現時にのみ使用し、予防を目的として使用しないでください。
・この薬を使用しても全く効果が認められない場合には、他の原因による頭痛の可能性があるので、それ以上この薬を使用せず、医師に相談してください。

●どのように飲むか？

口の中で溶かして飲む薬です。舌の上で唾液を含ませ舌で軽くつぶして、唾液で飲み込みます。唾液だけでは飲み込めない場合は、コップ１杯程度の水またはぬるま湯で飲み込んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、ただちに医師に連絡してください。なお、多く使用した時に狭心症（しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、冷汗が出る、あごの痛み、左腕の痛み）が認められたという報告があります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・この薬を使用後、胸の痛みや胸の圧迫感などの一時的な症状があらわれることがあるので(強く咽喉頭(いんこうとう)の辺りまで症状が出る場合もあります)、これらの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
・心血管系の病気がない人でも、心臓に重篤な障害が極めてまれに起こることがあるので、異常を感じた場合には、ただちに医師に連絡してください。
・頭痛発現時あるいはこの薬を投与した後に眠気があらわれることがありますので、この薬を使用している間は自動車の運転等危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
・この薬を含むトリプタン系の薬により、頭痛が悪化することがあるので、この薬を使用しても良くならない場合には医師に相談してください。
・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
・授乳を避けてください。
・グレープフルーツジュース、セイヨウオトギリソウ（Ｓｔ．Ｊｏｈｎ’ｓ Ｗｏｒｔ、セント・ジョーンズ・ワート）を含有する食品はこの薬に影響しますので、控えてください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシーショック	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そう

重大な副作用	主な自覚症状
	はく)、手足が冷たくなる
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき)、息苦しい
不整脈 ふせいみゃく	めまい、動悸（どうき)、脈が遅くなる、気を失う、脈がとぶ
狭心症あるいは心筋梗塞を含む虚血性心疾患様症状 きょうしんしょうあるいはしんきんこうそくをふくむきょけつせいしんしっかんようしょうじょう	しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、冷汗が出る、息苦しい
てんかん様発作 てんかんようほっさ	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
頻脈（WPW 症候群における） ひんみゃく（だぶりゅぴーだぶりゅしょうこうぐんにおける）	動悸、胸の不快感、脈が速くなる、めまい、気を失う
薬剤の使用過多による頭痛 やくざいのしようかたによるずつう	頭痛

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、冷汗が出る、顔や手足の筋肉がぴくつく
頭部	めまい、気を失う、一時的にボーっとする、意識の低下、頭痛
顔面	顔面蒼白（そうはく）
口や喉	喉のかゆみ
胸部	動悸、息苦しい、しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、胸の不快感
手・足	手足が冷たくなる、脈が遅くなる、脈がとぶ、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、脈が速くなる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹

【この薬の形は？】

形状	素錠

PTP	 表面　　裏面
直径	8.0mm
厚さ	2.9mm
重さ	180.0mg
色	淡黄色
識別コード	アメル ELT /OD 20

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	エレトリプタン臭化水素酸塩
添加物	クロスカルメロースナトリウム、スクラロース、黄色三二酸化鉄、D-マンニトール、D-マンニトール・カルメロース・結晶セルロース・クロスポビドン混合物、香料、ステアリン酸マグネシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
　製造販売会社：共和薬品工業株式会社（http://www.kyowayakuhin.co.jp/）

販売会社：日本ジェネリック株式会社（http://www.nihon-generic.co.jp/）
お客さま相談室
電話番号：０１２０-８９３-１７０
受付時間：月～金曜日　９：００～１７：３０
（土、日、祝日、その他当社休業日を除く）